

全国中高教育模擬国連研究会  
代 表 米 山 宏

全模研の先生方、大変、大変ご無沙汰しております。全模研とACCUが主催した第1回全国高校教育模擬国連大会は去る8月7、8日の2日間にわたり東京代々木のオリンピックセンターにおいて行われ、盛況のうちに無事終了しました。No,8の発行日を確認したところ、昨年12月の勉強会の直後でした。そこから一気に新大会開催モードに入りましたので、この全模研ニュースの発行が全くおろそかになっていました。全模研の先生方には新大会のお知らせは別メールで色々と配信していただきましたので、「なんとなく」分かっていたかと勝手に解釈していますが、正式な大会のご報告をしておりませんでした。現在、正式な配布用報告書を作成中です。10月下旬には完成予定ですので、その際にはまたメール等でお知らせしたいと考えています。ですので、本日は簡易版として9ヶ月ぶりの全模研ニュースにてご報告させていただきます。

## 第1回全国高校教育模擬国連大会開催！

### I 大会概要（再掲載）

1. 主催：ACCU+全模研 キャッチフレーズ「高校生の高校生による高校生のための模擬国連大会」
2. 開催日時、場所：2017年8月7日（月）8日（火） 国立オリンピック記念青少年総合センター
3. 参加形態・大会規模：各校30名まで 合計300人～700人程度で議場は4会場に分割
4. 会議形式：全日本大会と同じ方式（ハーバード方式）でのダブルデリゲーツ方式（2人で1ヶ国を担当）
5. 使用言語：日本語（ただし簡単な定型句などは英語を使用する場面あり）
6. 参加費：3000円/参加1名につき
7. 日程概要：第1日目 AM開会式 PM4会場に別れて session1  
第2日目 AM4会場に別れて session2 PM4会場に別れて session3 閉会式
8. 運営主体組織（敬称略）：

大会実行委員会（生徒組織）— 実行委員長 飯田優太郎（浅野）  
副委員長 尾先由崇（札幌日大）、橋本周大（東大寺学園）  
総務広報セクションリーダー 飯田優太郎（浅野）  
運営受付セクションリーダー 小林 妃奈（かえつ有明）  
フロント・アドミニセクションリーダー 上野 蘭晶（渋谷教育学園渋谷）

大会事務局（ACCUと全模研教員組織）—

大会運営代表 米山宏（公文国際学園）  
大会運営副代表 青木文（ACCU）・竹林和彦（早稲田実業）  
大会運営役員 宮坂 武志（浅野）・後藤 芳文（玉川学園）・関 孝平（かえつ有明）  
奥井 雅久（実践女子学園）・柿岡 俊一（県立浦和西）  
室崎 撰（渋谷教育学園渋谷）・飯島 裕希（頌栄女子学院）  
齋藤 智晃（渋谷教育学園幕張）

大会顧問会議—議長 星野俊也（大阪大学大学院教授）、顧問 二ノ宮正和（ACCU）

## II 大会実績

1. 参加者数：高校生394名+中学生73名
2. 参加校：67校
3. 実行委員数：44名（20校）
4. 見学者数：約100名
5. 取材メディア：河合塾広報部、高校生新聞、理想科学工業広報部

## III 大会結果（ここでは校名だけ記します）

### A議場

- ・最優秀賞 海城高等学校
- ・優秀賞 渋谷教育学園幕張高等学校
- ・優秀校 西大和学園高等学校
- ・優秀賞 海陽中等教育学校
- ・実行委員特別賞 西大和学園高等学校

### B議場

- ・最優秀賞 西大和学園高等学校
- ・優秀賞 豊島岡女子学園高等学校
- ・優秀校 西大和学園高等学校
- ・優秀賞 市川高等学校
- ・実行委員特別賞 金沢大学付属高等学校

### C議場

- ・最優秀賞 渋谷教育学園幕張高等学校
- ・優秀賞 浅野高等学校
- ・優秀校 浅野高等学校
- ・優秀賞 逗子開成高等学校
- ・実行委員特別賞 豊島岡女子学園高等学校

### D議場

- ・最優秀賞 浅野中学校
- ・優秀賞 浅野中学校
- ・優秀校 麻布中学校
- ・優秀賞 新潟明訓中学校
- ・実行委員特別賞 東京韓国学校中等部

## IV 大会収支

全模研は主催団体ですので、その構成メンバーである先生方も大まかな収支をご承知おきください。収入は参加費徴収や企業協賛金などにより計2,935,000円でした。また支出は会場費や消耗品費、遠方実行委員への宿泊補助費などで計1,982,000円。結果953,000円が収支差額となり次年度大会に繰り越し致します。企業協賛金が安定的に確保出来る状態ならば参加費を値下げすることを第1に考えたいのですが、現時点では安定的と言える状態ではないため、しばらくは同額の参加費を徴収する予定です。

## V 中学生トライアルについて

今回募集予定数が700名程度を予定していましたが、400名程度にとどまってしまいました。そこで4会場での開催を見込んでいたので、1会場分を中学生用の模擬国連として実施することとしました。ただ大会自体は高校生の大会であるし、募集中盤から中学生の部を設けますというのも混乱の元になる、尚且つ来年度の大会で同じことを実施する担保ができないという判断で、正式名称は中学生の部という表示さえも使わず、「中学生トライアル」と称しました。これはあくまで今年限りの催しであるということと、内輪で行う練習会的な位置づけであるということを明確にするためです。以上のような事情により、このトライアルは全模研に加入してる学校とすでに高校生の参加を決定していた学校にのみご案内した次第です。広く一般にはこの件は告知していなかったため、「知っていれば参加したのに」という学校があったように聞いていますが、このような事情をご理解いただければと考えております。（実際には中学生に対しても表彰してHP等で発表しており、広く告知していないという点では完全に整合性が取れていないことは認識しております）ちなみに後述するように、当日は引率の先生から「質の高い議論をしている」とコメントされるような異議のある議場でした。なお、次年度の大会ですが現時点では中学生トライアルの実施は計画しておりません。大会全体のキャパがある中で、高校生を閉め出してまで中

学生の議場を確保するのは難しいと考えています。今年度の実績があるにも関わらず大変残念ですが、どうかご理解いただきたいと思います。

## VI 大会の様子（米山コメント～裏話を中心に日記風に）

### 1. 大会前日

午後に全国から集まった実行委員がオリンピックセンターに集合。ここではじめて全員が顔を揃える。今までサイバー空間上でのみ意見のやりとりを行っていたが、ついにその主達とご面会。みんな「あーこんな顔だったんだ！」全員で配付資料のセッティングをした後、各セクションに分かれて準備。途中食堂で実行委員の交流会もあり、明日から一緒に仕事をする仲間との親睦を深めていた。

### 2. 第1日目

とにかく慌ただしい。9時15分に受付を開始するのに、会場が利用できるのは8時半から。さらに前日も他の団体が使用しているので利用できず、本当の準備の時間はわずか45分のみ。それでもどうにか間に合わせて、参加生徒を迎え入れた。すべてがそんな状態だから開会式もバタバタ。基調講演者の外務省の村本さんのお話と国連事務次長の中満さんのビデオメッセージは何ともしっかり聞いて欲しかったが、どうにか問題なく終了することができた。村本さんは約50分、中満さんは約10分のお話だったが、両者とも今回のテーマに完全に沿った形での人選だったので、生徒達には相当刺激になったはず。とくに中満さんは今盛んにメディアに登場している人なので、その意味でもインパクトがあったのではないかと。バタバタの開会式後、会議に入れば落ち着くだろうと思いきや、こちらのミスで他の会場が午後からしか使えず、急遽昼食の時間をずらすなどして対応した。会議が開始されてからは大きなトラブルはなかったが、議場によってはDRの印刷が間に合わず、翌朝再度配布するなどの対応に追われた。午後の引率者ミーティングでは私からご挨拶させていただき、全国に散らばった実行委員によって準備された結果の不手際や参加費有料化などについて理解を求めた。その席で、ある先生から中学生の議場が非常にいい議論をしているというご指摘があった。急遽取り入れた中学生トライアルで、レベルの高い議論ができるのは新鮮な驚きだが、高校生の背中を見ながら中学生が経験を重ねているのは容易に想像ができ模擬国連の裾野の広がりを感じた。こうして第1日目の会議が終了したが、ここからは実行委員達のアイデアで交流会が開かれた。参加者を議場別ではなく全くランダムにグループ分けし、そこに実行委員が入って模擬国連について語り合う内容。教員から見ると事前の計画はやや不安だったが、当日は各グループ毎に話が盛り上がっているようだったので結果オーライか。

### 3. 第2日目

開場時刻直後からDRの印刷を急ピッチで進めたので、当初こそ慌ただしかったが、会議が始まれば落ち着いた雰囲気を取り戻した。午後にはアmendメントの提出も締め切られ、各議場で投票行動に移っていった。各議場でのDRの原本や本数などは今後発行される公式報告書に譲るが、各議場ともフロントの手腕によって、しっかりと終了まで漕ぎ着けたことが何よりだと感じている。しかし、その後の閉会式がまたバタバタであった。閉会式会場の大ホールのグループの議場の終了が遅れ、他の議場の生徒達が空くのを外で待つという事態になった。結果的に閉会式開始時刻が大幅にずれ込んだ。会場は17時までに原状復帰し出なくてはならないため、式のコンテンツもカットするなどし、最後まで臨機応変の対応を強いられた。参加者を送り出して後、実行委員は荷物をまとめてギリギリで会場を退出し、会場横の外のベンチで反省会。最後の事務連絡後、彼らの労をねぎらい終了となった。

### 4. 最後に

大会は何とか終了した。この大会が1つの学校行事として催されたのだったら及第点はもらえないかもしれない。ただ全国から参加者を募る大会で、その運営者がこれまた全国から集まった高校生で、しかも準備はすべてサイバー空間。大会前日まで顔も分からない相手と仕事を行う困難さ。そのような条件で、全てをひっくるめてトータルで考えれば「成功」と小声で口に出せる気がする。何より実行委員の働きは賞賛ものだった。既に役員の教

員からは彼らはレジェンドだと言われている。また共催のACCUCU事務担当の青木さんがいなければ、大袈裟な話ではなくこの大会は実施できなかつたでしょう。この大会の言い出しっぺとして当初は自分でも本当にできるのか半信半疑であったが、10人の役員の先生方とほぼ1年間にわたって準備を進めてこうして大会を終了することができました。関係の皆さんにはこの場を借りて御礼致します。

実は議論の様子などは取材していただいた「河合塾みらいぶ」のサイトに、時系列を追った詳細なレポートが掲載されています。本来主催者が書かなければならないレポートのような内容になっています。私の大会報告が上記のような日記風になったのは、実際に議場をろくに見ていない身では、あのような秀逸な報告が不可能と悟ったからです。ですから、正統派のレポートとしてこちらの「みらいぶ」のサイトもぜひご覧ください！

<https://www.milive.jp/live/170904/>

## 第2回全国高校教育模擬国連大会開催決定！

今年度引き続き、第2回全国高校教育模擬国連大会開催が決定しています。

日程：2018年8月6日（月）7日（火）

場所：きゅりあん（品川区立総合区民会館 JR大井町駅前）

募集人員・形態：ほぼ今年度大会と同様。

\*実行委員募集は今年の11月中旬より、参加者募集は来春を予定しています。いずれもACCUCUのHP上で発表致します。

## 2017年度全模研総会と勉強会「教員対象模擬国連会議」のお知らせ

今年の春先にメールにて承認された会則に則って、年次総会を開催致します。当日は恒例となっております勉強会と同時開催と致しますので、みなさんぜひご出席下さい。今年の勉強会は「教員対象模擬国連会議」です。当日は大学模擬国連のOBを招聘して、模擬国連についてのレクチャーを受けながら、ご自身も模擬国連を体験できるようになっています。詳しくは同時添付のチラシをご覧ください！

日時：12月10日（日）午後

場所：玉川学園高等部（東京都町田市）

内容：当初30分ほど総会、その後に先生MUNを開催

申込み：同時添付のチラシに玉川学園後藤先生のメールアドレスが記載されていますので、そちらに直接お申し込みください！なお、総会の出欠を兼ねたご連絡を11月上旬頃に再度お送りします。

## 編集後記

ようやくできました！全模研の先生方向けの大会報告+αです。とくに皆さんがこれを待ち望んでいたわけではないと思いますが、一応けじめとして書かせていただきました。大会に参加されなかつた先生方になんとなく雰囲気を感じていただけたら幸いです。12月の「教員対象模擬国連」はなかなか体験できない催しです。ぜひ奮ってご参加ください！それではまた12月にお目にかかりましょう！